

すぐに使えるサンプル素材付きの Moodle 活用レシピ集の構築

喜多 敏博^{1),2)}, 長岡 千香子¹⁾

1) 熊本大学大学院 社会文化科学研究科 教授システム学専攻

2) 熊本大学 eラーニング推進機構

kita@ield.kumamoto-u.ac.jp

Creation of Moodle Utilization Recipes with Ready-to-use Live Samples

Toshihiro Kita^{1),2)}, Chikako Nagaoka¹⁾

1) Graduate School of Instructional Systems, Kumamoto University

2) Institute for e-Learning Development, Kumamoto University

概要

本研究では、「Moodle でやりたいこと」から、「コンテンツの作成方法・設定方法」を逆引きして探すことができる Moodle 活用レシピ集の設計およびプロトタイプの開発を行っている。すぐに利用できるサンプル素材を各レシピに付けることで、Moodle の利用に不慣れたユーザでも容易にコンテンツの作成・設定を行うことができるようにした。

1. 研究の背景と概要

日本国内における LMS (Learning Management System) の利用状況調査^[1]によると、大学や大学院、短期大学において、Moodle の利用割合が最も高い。Moodle はオープンソースの LMS であり、ソースコードがインターネット上で公開されているため、低コストで導入が可能であり、導入先の組織の事情に応じてカスタマイズも可能であるなどの特長も備えている。

Moodle の利用方法についての資料やマニュアルは、Moodle 開発本部で作成し管理している Moodle Docs をはじめ、オンライン上に数多くあり、書籍もいくつか出版されているが、その多くは、Moodle に備わっている機能についての基本的な説明にとどまっており、教育実践を行う上で重要となる「こういうことをしたいが、どうすれば実現できるか」という情報を直接的に提供する網羅的な資料やマニュアルは日本語では見当たらず、英語で書かれたそのような資料等も完全に網羅的なものは見当たらない。

そこで本研究では、逆引きマニュアルのように、「Moodle を利用してやりたいこと」から「コンテンツの作成・設定方法」を調べることができる Moodle 活用レシピ集の設計およびプロトタイプの開発を行っている。また、各レシピには、Moodle コースの「インポート」の機能によって

各自のコースにすぐに導入して使えるサンプル素材を添付することで、Moodle の利用に不慣れたユーザでも、気に入ったレシピを自身のコースへ簡単に取り込んで利用できるようにした。

2. Moodle 活用レシピ集

Moodle 活用レシピ集は、(1) Moodle でやりたいことのレシピを探す、(2) 利用したいレシピを見つけたら、そのレシピを参照して自分のコース上でコンテンツを作成・設定をするという流れで利用する(図1)。レシピ集の画面上では、例えば、「練習用に何回でも受験できて、間違えたらフィードバックが表示される小テストを作成する」「成績評価用に1回しか受験できず、カンニングも難しい小テストを作成する」といったレシピが表示され、Moodle の機能別ではなく、「やりたいこと」に基づいて Moodle の使い方を調べることができる。レシピを確認しても自分でコンテンツを作成・設定することが困難な場合は、(3) レシピに添付されているサンプル素材を Moodle のインポート機能を用いて自身のコースへ取り入れ、利用することができる。

今後、Moodle 利用者の意見や要望も聞きながら、様々な Moodle 活用方法に対応すべく、活用レシピ集のレシピを充実させていく予定である。

参考文献

[1] 平成 25 年度文部科学省先導的・大学の改革推進委託事業「高等教育機関等における ICT の活用に関する調査研究」委託業務成果報告書
「2.2.3. ICT 活用教育実施状況 (8) 学習管理システム (LMS) の利用状況」

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1347642.htm

謝辞

本研究は JSPS 科研費 16K00483 の助成を受けたものです。

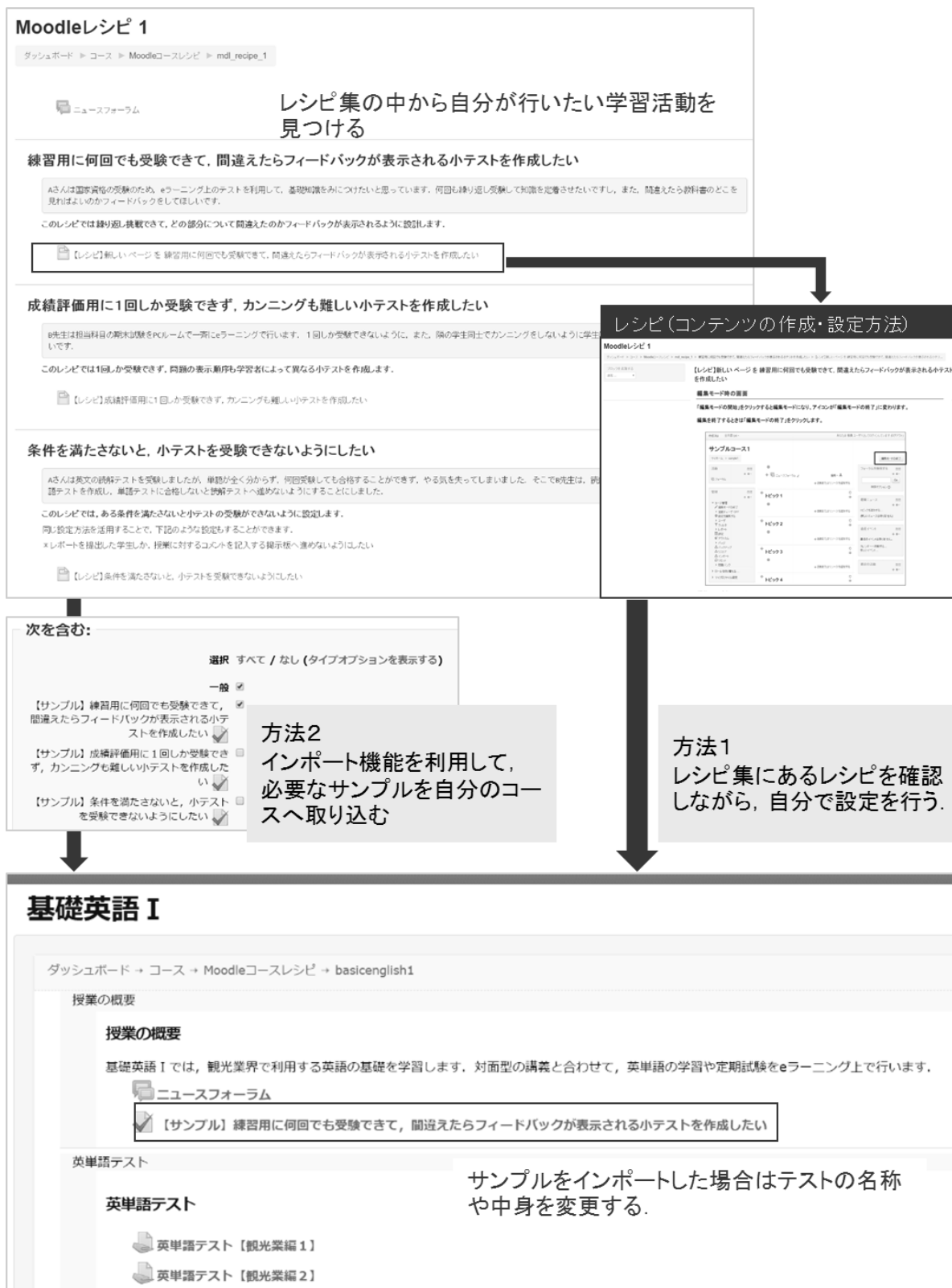


図 1 : Moodle レシピ集の利用方法